

マンスリー
MONTHLY
キョクトー

VOL.540

発行／極東産機株式会社 〒679-4195 たつの市龍野町日飼190 ☎(0791)62-1771
 編集／極東産機(株)総務部 ホームページアドレス <https://www.kyokuto-sanki.co.jp/>

新春豊展示会



兵庫豊展示会&セミナー（1月9日(土) 島田研修センター(兵庫県たつの市)）

全国オンライン同時配信
豊店経営セミナー



WITHコロナの新時代 勝ち残り発展する豊店のなすべきこと
 —「WITHコロナの時代を勝ち抜く豊店経営セミナー」講演より—

代表取締役社長 頃 安 雅 樹

この一年、コロナがすべてを変えてしまった。聞き慣れない「三密回避」「行動変容」「新しい生活様式の実践」等が提唱され、それを受けて我々も、ピンチをチャンスに変えるべく「新しい営業方式の実践」を求められることとなった。

すなわち、第一に「ソーシャルディスタンスの確保（訪問・密着営業からの脱却）」、第二に「リアルからリモートへの転換（コミュニケーションツールの急速な伸長）」、第三に「接触から非接触への変化（自動化ニーズの更なる高まり）」である。

具体的な方策としては、例えば以下の通りである。
 ・訪問時に感染防止対策万全であることのアピール（マスク、消毒等）
 ・PR方法の変革（ライン・フェイスブック等のSNSの活用等）
 ・訪問回数の削減と滞在時間の短縮（ネット活用による引き合い対応、電子マネー等による客先でのスピーディーな事務処理と集金）

・清潔感をアピールできる高機能性豊（抗菌・水洗いOK等）の販売促進
 ・豊製造の自動化・省力化装置の活用による生き残り、勝ち残り
 さて、コンピュータ等による「自動化の進展」により今後多くの職業が消えていくとの欧米の論文が話題になっているが、果たして豊店は「消えていく職業」「生き残る職業」のどちらなのだろうか？

私は「製造業としての豊店」は消えていき、「製造もできる小売・サービス業としての豊店」のみ生き残ることができると考えている。
 本年度で販売40周年を迎える「コンピュータ式豊製造システム」、これにより「豊製造」に伴う多大な労力を削減し、その余力を「人間でないとできない仕事、すなわち営業活動」に振り向けることができ、その結果豊店が「製造もできる小売・サービス業」として生き残り、勝ち残り、後継者を育成して発展し続けることが可能となったのである。

販売40周年を機に、当社は今後とも、業界トップシェアを更に不動のものとしつつ、上場企業として投資家への直接PR、取材等を通じた消費者へのPRという形で、あらゆる機会を捉えて豊の持つすばらしさ（「くつろぎ・癒し・安全・安心等」）を大いにアピールするとともに、「生産の超近代化」「営業力の強化」「事業の多角化」「商品力の強化」の「4つの差別化戦略」からなる「豊店の構造改革提案」をより一層強力に推進することとしたい。

● 豊事業部

大分県中津市「二豊製畳有限公司様」

「両框裁断機チツプソーWINII」導入で大活躍

福岡県・大分県と県境を接する中津市に本社、県都大分市に支店を展開する二豊製畳有限公司様は、1900年（明治33年）創業の120年の歴史を誇る老舗畳店様です。



2020年10月代表取締役社長に就任された山本哲郎様は4代目社長となります。

1965年に細田畳店から法人化され、二豊製畳有限公司となりました。当時は当社の製畳機「おとり」をご使用いただき、蓼床製造から畳製造まで行い、新畳の下請け中心の業務内容でした。昭和の終わり頃には、九州地区でどこよりも早くダイケン畳を採用され、新畳に関しては下請けから元請けへ業務内容の転換を進めました。営業対象を工事店のみならず、一般個人客へも営業活動を広げ、大量生産から個人客のニーズを

満たすために、襖・障子・網戸・壁紙等の多角化も進めていかれました。

ちょうどその頃に工場内での女性採用を考慮しておられた二豊様が「経験がなくても畳が作れる」当社のCSラインへ興味を持たれ、「自動表張機」と「全自動両框縫機」を導入いただきました。

その後も業績の拡大で次々と設備投資は続き、1994年に「全自動両平刺機」、1997年には「全自動両返縫機」と「畳積上ロボット」、2002年には「全自動チツプソー裁断機」を導入いただきコンパクトラインが完成いたしました。

結果として、工場内作業をすべて女性が行えるようになり、1998年に「スーパージミニライン」を導入いただいた大分支店でも女性がすべての畳を製造できるようになりました。

2019年には、本社工場・事務所を中津市中心部から郊外へ移転、総二階建ての工場・事務所を新築されました。

移転時に老朽化していた「両平刺機」を最新型の「両平刺機マスター」に入替、追加で「畳美人

II」も導入されました。



同時に近年受注が増えている縁無畳の製造品質の向上を図るために「縁無畳用畳表自動両折曲機TATSUJIN」を導入いただき、2021年1月には縁無畳・薄畳への更なる対応力強化のために「両框裁断機チツプソーWINII」も導入いただきました。

二豊様は畳業界の大きな変化に合わせて柔軟に自社の体制も対応され、大きく変化と進化を繰り返されて現在の繁栄を築かれてこられました。

特別色の燃えるような赤色の機械のように熱い向上心溢れる二豊様が益々ご発展されますよう、私共も全力でご支援させていただきますと思います。

このたびはお忙しい中取材にご協力を賜りましてありがとうございます。

豊事業部 九州担当
部長 上杉 英二

● 豊事業部

「withコロナの時代を勝ち抜く畳店経営」

オンラインセミナー開催

WEB会議システムZoomを使用して、全国オンライン同時配信『withコロナの時代を勝ち抜く畳店経営』セミナーを開催いたします。

まだまだ「畳仕事を増やす方法」はあります。繁盛畳店さんが実行されている内容を詳しく、ご紹介いたします。ぜひお聞きください。

開催案内
「畳店様事例発表」

第2回 2021年2月6日(土) 14:00~17:00

畳から内装工事まで事業拡大し、大きく飛躍

支店展開と大型プリンター導入で売上アップ



沼田畳内装(株)
(富山県小矢部市)
代表取締役
沼田 秀和様



(株)大山タタミ店
(沖縄県宜野湾市)
代表取締役社長
大山 竜児様

WEB会議システムZoomを使用して、全国オンライン同時配信『withコロナの時代を勝ち抜く畳店経営』セミナーを開催いたします。

第3回 2021年2月20日(土) 14:00~17:00

目指せ！不況に負けない安定経営
「小さな畳店の大きな挑戦」

1人で構造改革に挑戦し、売上大幅アップ



堀田畳製作所
(山梨県甲府市)
代表
堀田 登喜夫様



みぞぐち畳インテリア
(長崎県雲仙市)
代表
溝口 敏一様

参加場所
皆様の会社又はご自宅
参加人数
1社1アカウント

※「はんじょうくんブログ」
でもご覧いただけます。
<http://kyokuto-sanki-tatami.blog.jp/>

豊事業部 小池 靖子

極東産機(株) 豊事業部 YouTubeチャンネル登録をお願いします

極東産機 豊事業部 動画 検索



福島県二本松市
武藤畳店様



茨城県常総市
入山畳店様



東京都板橋区
(株)加藤畳店様



愛知県岡崎市
(株)實吉 永田畳店様



福島県岩瀬郡
吉田畳店様



茨城県土浦市
岩瀬畳ふすま店様



山梨県甲府市
堀田畳製作所様



愛知県岡崎市 (株)實吉 永田畳店
永田 修敬 社長様

SPORTS JUNCTION 出展

12月2日から4日、東京ビッグサイトにて開催された日本最大のスポーツ・健康産業総合展示会 SPORTS JUNCTION 2020に出展いたしました。本来は6月に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期となりました。



【展示ブース】

今回は、フィットネスクラブ様で発生する防音・防振対策をコンセプトにトレーニングマシン、の振動音やダンベル、バーベルが落下した際の衝撃音などを和らげる「ジムボードネオ」とトレーニングエリアの仕上げ材「ラバーマット」を

中心に来場者様へご提案させていただきました。



【ジムボードネオ】

建物の2階、3階でフィットネスクラブを運営している多くの経営者様にご来場いただきました。やはり階下からのクレームに苦労されている来場者様も多数いらっしゃり、ブース内で「ジムボードネオ」の上にダンベルを落として実演すると商品の防振性に納得いただきました。



【ラバーマット ロールタイプ】

その他にもブラジリアン柔術道場等におすすめの「柔術用畳マットRio」やリハビリ・ダンス施設向けの木目調の床材もご紹介いたしました。新型コロナウイルスの影響で残念ながら前回よりも来場者数は少なかったですが、多数のフィットネスクラブ関係者様にご来場いただきました。今回、ご紹介させていただいた商品のご使用や販売に関することは、お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先
TEL 0791-621-0088

トランジューマ事業部
担当部長 山岡 亮一

私の座右の銘

研究開発本部
グループリーダー 富岡 照也



座右の銘 ▶ 楽をしたい! そのために

分には無理、もつと楽をしたい。楽をするには自分の代わりに仕事をしてくれる機械を作れば良いと考え、装置を作る仕事をしようと考えました。

極東産機とその関連設計会社様とは、幼少よりいろいろご縁があり、学生の頃はアルバイトでお世話になり、上記関連会社に在籍していた30代頃は、糊付機・床ががし・インテリア・ふすま関係及び特機関係の仕事が多々設計させていただき、いろいろと技術を吸収することができたと考えます。

この種の仕事は、次々と新しい技術と向き合えることが、楽しみでもあります。若き技術者の皆さんも、知らない技術と向き合ってください。

私が、40年以上にわたるこの仕事を続けられたことは、これまでお世話になった皆様方のご指導のおかげであると心より感謝しております。もうちょっとだけ頑張ります。よろしくお願ひします。

「課題発見力」

関心や疑問を持って仕事をすると、そうでない人では見えていない世界が違うのではないかと思うことがあります。

仕事を進める際、問題意識が高いと、数多くある情報の中から役に立つ情報に気づきやすくなります。そして、改善につながったり問題解決に至ることも可能でしょう。関心があればあるほど必要な情報を取り込むことができます。

しかし、仕事をこなすことだけに必死になっていては、情報に触れてもそれに気づかず何も得ることができません。

通常業務をしながらも問題点はないか、この方法でいいのか等考えることが大切です。そして、それぞれが意見を述べ、課内で共有し、より良い方向へ進めるよう尽力していきたいと思ひます。

生産企画部 購買課
部長代理 莊所 哲男

10年ほど前、縁あって入社。すでに定年を迎え、65歳になった今も在籍させていたいただき、本当にありがたいことです。

現在特機関係の装置作りをしておりますが、私がこの仕事をしようと思ったきっかけは、中学生のころ、チャャリー・チャップリンの映画モダンタイムスを見たのがきっかけです。

ベルトコンベアーにてどんどん流れてくる部品ボルトを、スパナでもって締め続ける場面を見た時、このような仕事は自

